

## 2019年度ハドロキッズチーム第2回開催（2回分）

ハドロキッズチーム第2回宿泊合宿が1泊2日で開催されました。6月8日・9日には主に4～6年生を、15・16日には主に2・3年生を対象として運営しました。天気にも恵まれ、予定していた野外活動中心の学習を進めることができました。

### 初日

最初に博物館見学を行い、初日と2日目の化石採集でどんなものが採集できるのか、どんな石を探すのかを勉強しました。



展示解説。

左) 穂別で採集できるイノセラムス。

右) モササウルスも採集できるかな！？ 西村先生（オレンジの帽子）が採集したモササウルス化石の前で。

お昼ごはんを食べてから、化石採集に行きました。（6/15に予定していた化石採集地で前日の下見の際に熊の足跡が見つかったため、場所を変更して開催しています。）

化石採集では、沢に降りるためにササをかき分けながら、めざす場所に進みました。その後で、西村先生からハンマーの使い方をならって、それぞれ化石を探しました。化石採集は1時間半行われ、半分ぐらいのキッズが化石を採集しました。



左) 沢に向かっていきます。

右) ハンマーの使い方などを教わります。



ノジュールを探し、割って化石を探します。



集合写真 (左が 6/8 実施分、右が 6/15 実施分)

帰ってきて、着替えてから穂別博物館の作業場で化石クリーニングとアンモナイト研磨をしました。



化石クリーニング（右写真はクリーニングの仕方を学んでいるところ）



アンモナイト研磨

クリーニングの後、宿泊荷物を持って宿泊施設に移動。お風呂に入った後、焼肉を1時間楽しみました。



みんなで焼肉

焼肉の後は、西村先生による授業「化石とは何か1」を1時間受けました。硬いアンモナイトや柔らかいマンモスの毛、太古の虫をそのまま閉じ込めたコハクなど、様々な標本を比べながら、化石とそうでないものの違いを考えました。

「化石とは何か?」「どれが化石か?」答え合わせは、次の日に。夜9時には就寝となりました。



西村先生の授業「化石とは何か1」。どれが化石か?大激論。

## 2日目

朝の準備をしてから、アースギャラリーに移動しました。前日に、「早く準備をしたら、化石採集にいく時間・化石クリーニングの時間が増える」と伝えていたので、予定よりも20分早い7:00に出発しました。

朝食はバイキングでした。むかわ町で収穫した食材を多く使用し、食育活動を行いました。実習で殻のスケッチをするアサリも食べました。



新鮮な野菜などが出た朝食。

そのあと、化石レプリカ作りをして、西村先生の授業「化石とは何か2」を受けました。化石とは何だったのでしょか!?答えは出たのかな?



化石レプリカ作り



「化石とは何か2」大激論終了！？



そのあと、大急ぎで化石採集に向かいました。1時間未満でしたが、全員が化石を採集することができました。



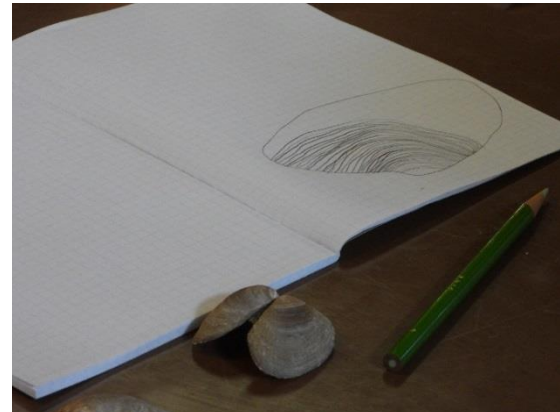
2日目の化石採集



集合写真（左が 6/9 実施分、右が 6/16 実施分）

化石採集に夢中になった結果、化石クリーニングの時間がなくなってしまいました（6/9、6/16 両日とも）。

お昼ごはんにはむかわ町の食材をたくさん使ったお弁当を食べた後、午後は授業をしました。二枚貝の成長を調べる授業で、朝食べたアサリのスケッチをしました。二枚貝の成長がよく分かったかな。



二枚貝のスケッチ。朝食べたアサリを真剣にスケッチしています。

最後に、西村先生による授業「化石博士のなり方」を30分受けました。日本には、化石博士が何人いるのかな？1学年で、何人ぐらいが化石博士になれるのかな？小学生は何をがんばればいいのか？たまに思い出してみましよう。



左)「化石博士のなり方」。真剣に聞いています。

右) ホワイトボードに何が書かれたのかッッ!! 参加者のみが知る化石博士になるための道。

午後2時半に終了してから、午後4時まで希望者は博物館作業場で化石クリーニング・レプリカ作りなどを行いました。



宿泊合宿終了後のレプリカ作り

忙しいスケジュールで大変だったかもしれませんが、アンケートの結果はおおむね大好評でした。小学生（特に低学年）向けとは思えない授業もありましたが、よくがんばりました。今回の宿泊合宿で、化石博士（古生物学者）に少し近づいたのではないのでしょうか。

地域おこし協力隊 中田幸宏・穂別博物館学芸員 西村智弘  
(画像は一部加工をしています)